

**ジョリパット650シリーズ
あやめカット仕上げ
施工の手引き**

平成12年7月作成

アイカ工業株式会社

化成品開発第二部

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	ジヨリパットシーラー JS-410	塩化ゴム系 1液型溶剤透明シーラー	15kg石油缶	75~100㎡/缶
主 材	ジヨリパット650シリーズ 標準色 JP-650 JP-650T (...数字) 特注色 JP-650 (...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^ℓ -缶	約 7㎡/缶

- ・ 灯油

< 主な施工道具 >

- ・ リシンガン(口径 4~6mm)
- ・ マスチックローラー(ジヨリパットローラーJR-20:9インチ)又は、
金ゴテ
- ・ あやめローラー(ジヨリパットローラーJR-30:7インチ)
- ・ 隅用ローラー(ジヨリパットローラーJR-25)
- ・ ヘッドカットローラー(平面用:ジヨリパットローラー JR-26)
(隅 用:ジヨリパットローラー JR-27)
- ・ コンプレッサー(3馬力以上:1台使用の場合)

下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

<あやめカト仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	JP-650シ-ズ	20kg
	清 水	3~4割
塗布量	約1.0kg/m ²	
吹圧力	5~7kgf/cm ²	
使用ガン	リシガン口径	4~6mm

左官業者の場合は、ジョリパットを無希釈で
1.0kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布
する。(下ごすり)

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

<塗装業者の場合>

- ・マスタックローラーにてジョリパットが約2kg/m²となるよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りする。(ムラ切り)

<左官業者の場合>

- ・金ゴテにてジョリパットが約2kg/m²となるよう均一に配り塗りする。

追いかけ(5分以内)

4. パターン付け

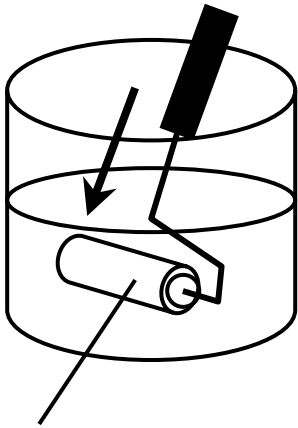
- ・あやめローラー(JR-30)に充分ジョリパットを含ませる。(図-1)次に、あやめローラーを横方向に転がし、ジョリパットのムラ切りをする。(図-2)
ジョリパットが均一に配られていることを確認してから、あやめローラーを上から下にまっすぐ転がす。ローラーを少し引きずるような感覚でパターン付けする。(図-3)

追いかけ (5分以内)

5. ヘッドカット (押さえ)

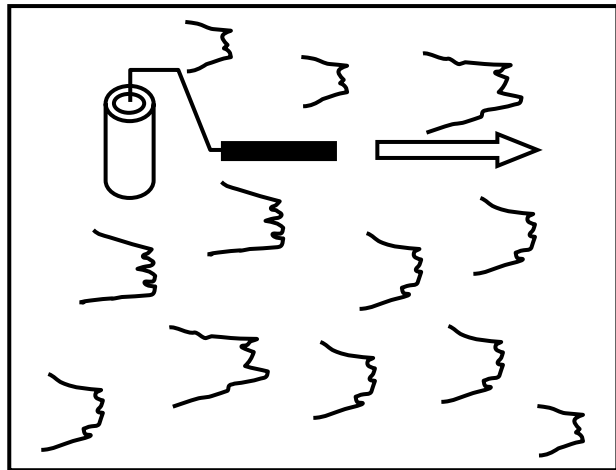
・ヘッドカットローラーJR-26 (平面用) や JR-27 (入隅用) を灯油に充分浸してから、ジヨリパット模様の表面をカットローラーが転がるよう軽く押さえる。

< 施工のポイント >



JR-30
(あやめローラー)

図-1

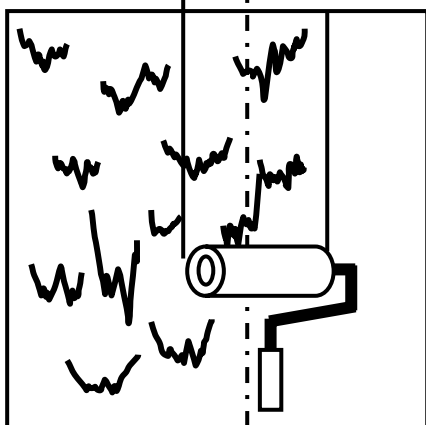


ムラ切り

図-2

横の塗り継ぎ

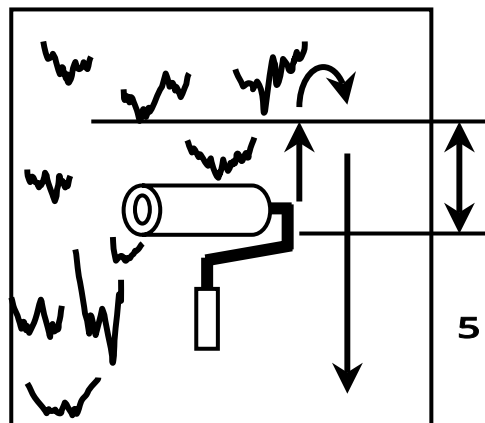
5 ~ 10 cm



・5 ~ 10 cm 前のパターンと交差するようにローラーを上から下へ転がしてパターン付けを行って下さい。

縦の塗り継ぎ

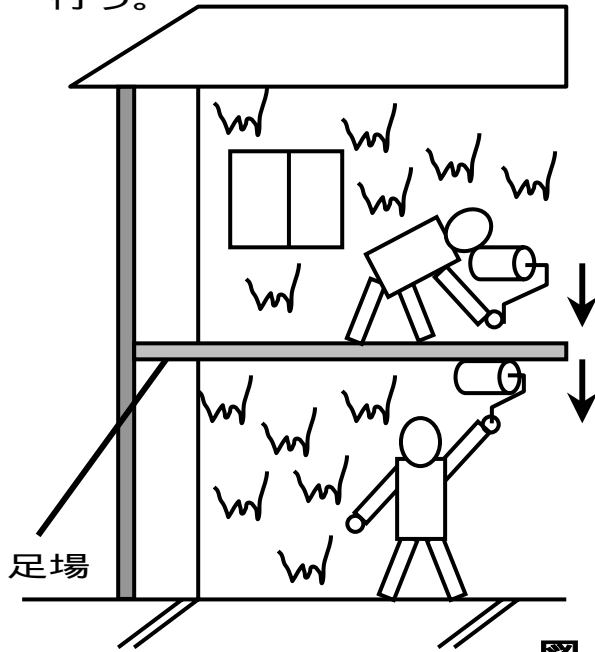
5 ~ 10 cm



・ローラーを5 ~ 10 cm 上に戻してから下方向に転がしてパターン付けを行って下さい。

図-3

あやめローラーJR-30が入らず、パターン付けが困難な入り隅などは、隅用ローラーJR-25にてパターン付けを行う。

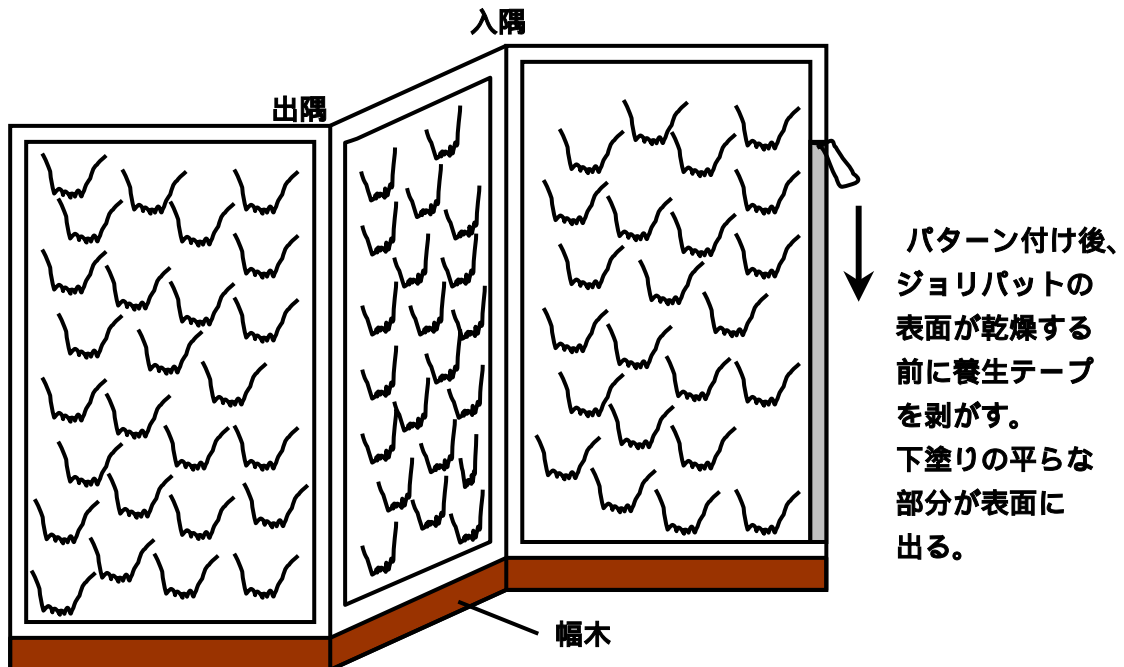


足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、足場の上と下で時間をあけないよう2~3人で組んで施工して下さい。ジョリパットの表面が乾燥して皮がはる前にパターンをつないで下さい。(皮ばり後にパターン付つなぎを行うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図 - 4

入り隅、出隅の処理方法

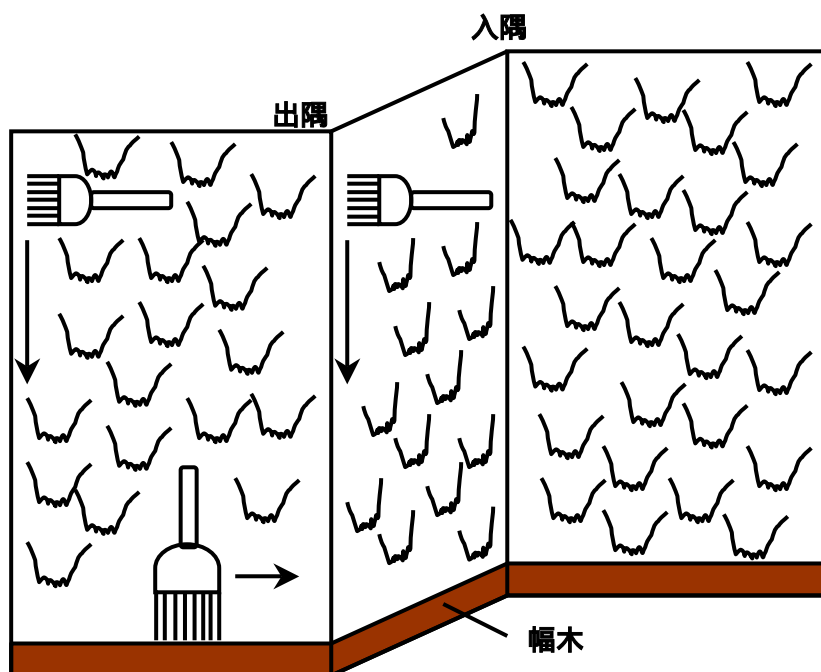
- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるかジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛(平刷毛など)で押さえる。(図 4)



パターン付け後、ジョリパットの表面が乾燥する前に養生テープを剥がす。下塗りの平らな部分が表面に出る。

化粧目地をとる工法

ジョリパットを下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。



刷毛で押さえる工法

図 - 5

< 施工の注意事項 >

- ・ 配り塗りはできるだけ均一にする。
(パターンを均一にする為)
- ・ 塗布量が少ないとパターンが出ない場合があります。
(一般的に塗布量が少ないと小柄な模様になり、塗布量が多いと大柄な模様になる為、塗布量に注意する。)
- ・ あやめローラーJR-30 (パターンローラー) にもジョリパットを充分含ませる。
(あやめローラーにジョリパットを含ませずにパターン付けすると模様が小柄になり、きれいな模様ができません。)
- ・ あやめローラーは、軽く引きずるような感覚で動かし、パターン付けする。力を抜いてローラーが転がるようにパターン付けしても模様は出ません。
- ・ ヘッドカットローラーは、力を入れず上から下へ軽く転がす。
(強く押さえると模様が潰れてしまいます。又、下から上へカットローラーを転がすと模様が逆立ってしまいます。)

- ・ 縦方向の塗り継ぎは、一部分に集中させず、ちどり状になるよう（図 - 6）にする。（足場部分では、塗り継ぎが集中しやすい為、ちどり状になるよう注意する。）

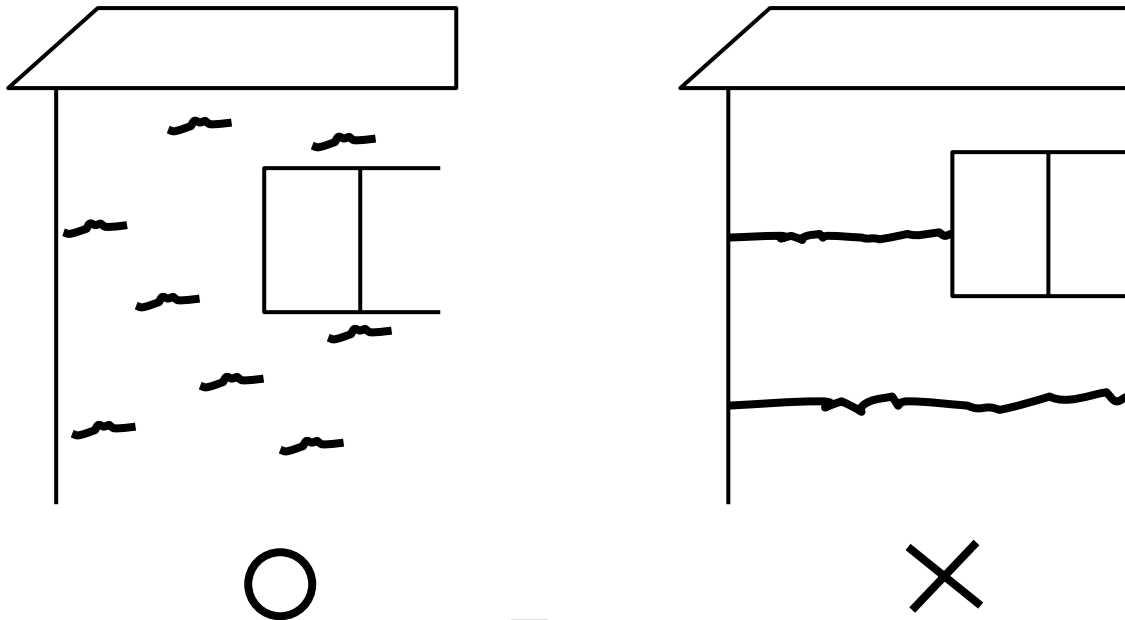


図 - 6

- ・ 大面積を施工する場合、ジョリパットの表面が皮ばりした後にパターンをつなぐと模様つなぎが汚くなる為、化粧目地をとるよう工夫する。（図 - 7）

（例）

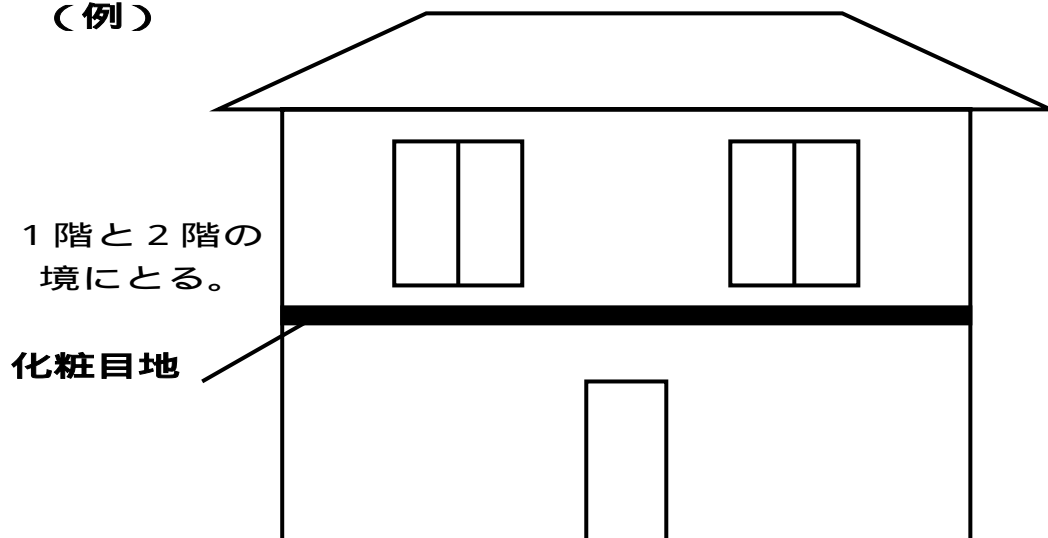


図 - 7

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)

以 上